



Creo SaaS Offerings サービス記述書

2023 年 1 月 3 日発効

Creo SaaS の使用には、[SaaS 基本契約](#)（以下「本契約」といいます）の諸条件のほか、以下の追加の諸条件が適用されます。以下に定義されていない大文字の用語は、本契約で定義されている意味を有します。

はじめに

Creo SaaS には、Creo AR Design Share 及び Creo Generative Design Extension (GDX) という 2 つのオファリングがあり、それぞれ以下のとおりです。

バックアップ及び災害復旧

PTC は、事業継続及び災害復旧のベストプラクティスをサポートするため、包括的なデータバックアップ・ポリシーを維持しています。システムの完全バックアップは毎日行われ、地理的に冗長な（Geo 冗長）場所に保管されます。本番システムのバックアップは 30 日間維持されます。

大規模なサービス停止が発生した場合、PTC は影響を受ける顧客と協力して、災害復旧プロトコルを実施すべきかどうかを判断します。必要な場合、本番システムの復旧時点目標 (RPO) は 24 時間、復旧時点目標 (RTO) は 5 日間とします。非本番用システムは、すべての本番用システムが完全に復旧した後、可能な限り迅速に復元されます。

セキュリティ及びデータプライバシー

本サービスのセキュリティプログラムに関する情報は、[PTC トラストセンター](#)に掲載されています。

本サービスの一部として収集されるデータに関する情報は、<https://www.ptc.com/en/documents/policies>にあります。

Creo AR Design Share

Creo AR Design Share は、Creo ユーザーが直接 Creo、Creo View、Windchill 又は Creo Elements/Direct から PTC がホストするサーバーにモデルをパブリッシュすることを可能にする製品であり、その際 Vuforia View を使用することにより Augmented Reality の Experience（エクスペリエンス）として消費されます。

製品名	入手方法	パブリッ シュ管理 者	パブリッ シャー	使用可 能な発 行済み モデル	コントロール
Creo AR Design Share - Personal	Creo 4.0 M040+ の各ライセンス に対して無償	1	1	10	<ul style="list-style-type: none"> 無料体験サーバーには一度に 10 モデルのみホスティングできます。 お客様が 10 件のモデルをパブリッシュすると、追加のモデルをパブリッシュするためには削除しなければなりません。
Creo AR Design Share - Enterprise	Creo 4.0 M040+ と同時に購入	1	無制限	50	<ul style="list-style-type: none"> 管理者にはすべてのアカウントモデルに対して全権限があり、いつでもあらゆるモデルを削除することが可能です。 パブリッシャーは自身がパブリッシュしたモデルに対して全権限があり、いつでも自身がパブリッシュしたあらゆるモデルを削除することが可能です。 管理者はいつでもあらゆるパブリッシャーを追加し、又は削除することができます。 パブリッシュされたモデルへのアクセスは管理者／パブリッシャーにより制限することができます。

Creo Generative Design Extension (GDX)

はじめに

このマルチテナントのオフリングは、お客様に Creo Parametric の Generative Design Extension (GDX) へのアクセスを提供します。GDX はクラウドベースの拡張機能です。GDX にアクセスするには、Creo の Generative Topology Optimization (GTO) 拡張のライセンスが必要です（別途購入が必要）。

ソリューションのスコープ

GDX は、事前設定済みの PTC によってホスティングされるパッケージとして入手でき、次の機能を含みます。

- 購入した GDX パッケージごとの単一ユーザーアクセス

- Creo クライアントからクラウドへの接続
- クラウドベースの Generative Design ソルバーの使用
- 以下で特定されるストレージ割り当て
- Creo 製品の標準サポート

オフアリングに関する基本事項

GDX の購入により、購入パッケージごとに 1 登録ユーザー分の GDX へのアクセスが提供されます。各パッケージには、クラウドベースのソルバーを実行するために使用可能なアカウントのクレジット（すべてのユーザーで共有）が数多く含まれています。消費されるクレジットの数は、クラウドソルバーで完了した計算の量と性質によって異なります。GDX パッケージが提供する以上のクレジットが必要な場合は、追加のクレジットを購入することもできます。購入したクレジット数よりも多くのクレジットを使用すると、超過料金が発生します。

パッケージ

GDX には 2 つの購入可能なアイテムがあります。

- GDX パッケージ – 1 ユーザー分のアクセス権限とアカウント全体につき 20,000 クレジットが含まれています。
- クレジット アドオン – 製品の説明で指定されているクレジット数だけアカウントのクレジット割当を追加します。

登録ユーザー

購入した各 GDX パッケージでは、1 人の登録ユーザーが GDX 機能にアクセスできます。追加の登録ユーザーは、追加の GDX パッケージを購入することによって追加することができます。

クレジットの有効期限／超過

クレジットは、個別に購入するかパッケージの一部として購入するかを問わず、年単位で指定されますが、使用されない場合、契約年ごとに期限切れになります。例えば、お客様が 120 クレジットを 3 年間の契約で保有している場合、契約年ごとに 120 クレジットまで消費することができますが、その年にすべて消費されなかった場合は未使用分のクレジットは無効になり、翌年には繰り越されません。さらに、お客様が各年のクレジット分を超えた場合、PTC は、超過クレジット使用に対して超過料金を請求する権利を留保します。

セキュリティ保護の手段

SOC-2 Type 2 認証。PTC の ISO 27001 認証はこのオフアリングを対象とせず、このオフアリングに対する PTC の管理は ISO 27001:2013 フレームワークと一致しません。

データのエクスポート

お客様は、本サービス期間終了が近づいた時点で、本データをエクスポートするために抽出することができます。かかる抽出をしない場合、本データは、本サービス期間の満了又は終了後、本サービスから削除されます。